

遼寧省（中国）

（１）どのような機関ですか？

- 中国の東北地方南部に位置する遼寧省は、省都の瀋陽（しんよう）市、大連（だいいん）市、撫順（ぶじゅん）市など14市から構成され、中国東北部における経済の中心地域となっています。
- 2017年には、中国（遼寧）自由貿易試験区の設立が批准されており、貿易や投資における規制緩和が進められ、「物品貿易の自由化、サービス、投資、金融、政府調達、知財保護などの領域で改革を行い、ハイレベル産業の集積地」*1とすることが目指されています。

*1 日本貿易振興機構「地域・分析レポート（中国）遼寧省の最新ビジネス情報セミナーを開催（１）」（2018年5月31日）

- さらに、2018年には、外資系企業の誘致拡大に向け、一定条件を満たした場合の奨励金支給や、医療・ヘルスケアを含む複数分野における外資参入の開放などの施策が発表されています。外資誘致については、特に日本を含む北東アジアが重視されており、2019年に発表された「北東アジア地域との経済・貿易連携を促進し、対外開放の新たなフロンティアを建設するための意見」では、医薬・医療・ヘルスケア分野の交流強化を含め、多くの内容で、日本との連携強化について言及されています。

ここがすごい！

- 日系企業の進出数と日本語人材の豊富さ
同省の貿易額（2016年）は日本が1位であり*2、2017年時点で1,772社（瀋陽市195社、大連市1,550社、その他27社）の日系企業が進出しています。特に、大連市の日系企業（拠点）数は、都市別にみると世界第3位の規模*3です。また、日本語専攻の大学が省内に27大学あり、毎年3,000人近い卒業生を輩出するなど、日本語人材も豊富*4です。



*2 日本貿易振興機構大連事務所「遼寧省概況」（2018年7月）より

*3 外務省「海外在留邦人数調査統計（平成30年版）」より

*4 日本貿易振興機構「地域・分析レポート（中国）」（2019年2月26日）より

＜組織概要＞

組織名	中華人民共和国 遼寧省
Webサイト	http://www.ln.gov.cn/ （中国語のみ）

（２）神奈川県との関係は？

- 神奈川県と遼寧省は、1983年に友好提携を締結して以来、経済、観光、文化、青少年、スポーツなど幅広い分野において活発な交流を行っており、友好提携35周年となる2018年に、ライフサイエンスや公衆衛生などの分野における協力を含む内容でMOUを締結しました。
- 相互に友好交流職員も派遣しており、このMOUを活かして、**神奈川県からも、ネットワーキング等のサポートが可能**です。



※2023年10月
覚書再締結時の様子

＜MOU概要＞

MOU締結時期	2018年5月8日
MOUの目的・内容	◆ 友好提携35周年を迎えるに際し、遼寧省の重点産業等であり、神奈川県の先進的な取り組みであるライフサイエンス、ロボット産業、環境保護、公衆衛生の分野でのさらなる交流の促進、職員交流の充実等を通して、課題解決に向け知恵を出し合い、交流・協力関係をより実りあるものにするよう努力する。
関連URL	https://www.pref.kanagawa.jp/docs/mv4/cnt/f531396/p1194356.html

(3) 国外企業（日本企業）への支援はありますか？

- 国外ライフサイエンス関連企業に対しては、市場情報提供/市場調査支援などが提供されています。

a. ワンストップ相談窓口/専門家派遣	b. 規制/制度対応支援	c. 市場情報提供/ 市場調査支援	d. 現地企業等の紹介・ネットワーキング	e. 現地研究者とのマッチング（共同研究支援）	f. 施設・設備供与
－	－	○	－	－	－

g. 立地支援/税制優遇	h. 支援金/奨励金制度	i. 補助金プログラム	j. その他
－	－	－	－

〔 ○：提供あり
－：提供なし 〕

※2019年11月に神奈川県がMOU締結先機関に対して行ったアンケート調査の回答に基づいています。

- また、ライフサイエンス関連企業に限られませんが、同省が発表した「新局面開放の構築を加速し、全面開放による全面振興の牽引に関する意見」（遼委発〔2018〕20号）では、2022年までにハイレベル製造業と現代サービス業を中心として、150億ドルの外資誘致を実現させることを目指して、一定条件を満たした場合に外資系企業の新設や増資に対する奨励金支給等の施策が定められています*5。

*5日本貿易振興機構（ジェトロ）ビジネス短信(<https://www.jetro.go.jp/biznews/2018/06/83d2a9940bd32d98.html>)

(4) 国外企業等とどのようなコラボレーションをしていますか？

- 国外企業等とのコラボレーションにおいては、特に、次のようなテーマが重点領域とされています。

a. 再生医療・遺伝子治療	b. 個別化医療	c. バイオテック/創薬	d. ヘルステック/AI活用	e. 低侵襲治療機器	f. 高精度診断機器	g. 計測・分析・評価技術	h. 受託研究・製造・開発	i. 希少疾患	j. がん／悪性新生物
			○						○

k. 感染症	l. 生活習慣病	m. 認知症	n. 生活機能（フレイル予防等）	o. メンタルヘルス・ストレス	p. その他

〔 ○：特に重視している領域 〕

※2019年11月に神奈川県がMOU締結先機関に対して行ったアンケート調査の回答に基づいています。

例えば…

➤ 介護分野での人材交流：

現在、日本の介護事業者（多数）と連携した遼寧省高齢者介護施設の共同運営事業を推進中。
ほかにも、日本企業との介護人材共同育成プロジェクトなど、介護分野での人材交流に関する事例を遼寧省よりご紹介いただきました。

※Web等の公開情報及び2019年11月に神奈川県がMOU締結先機関に対して行ったアンケート調査の回答に基づいています。
MOU締結先機関が行ったコラボレーション事例であり、必ずしも神奈川県とのMOUを活用した事例ではない点、ご注意ください。

※ 神奈川県令和元年度「ヘルスケア・ニューフロンティア国際展開支援業務委託」事業の一環で、みずほ情報総研株式会社が作成
令和7年度一部更新

<お問合せ先>

神奈川県 政策局 いのち・未来戦略本部室 国際戦略グループ

TEL：(045) 210-2720 メール：hcnf-gs@pref.kanagawa.lg.jp